

ふりがな

どうめん たかひろ

氏名

堂免 隆浩

1. 学歴

- 1997年3月 広島工業大学環境学部環境デザイン学科卒業
1997年4月 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻修士課程入学
1999年3月 同課程修了
1999年4月 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻博士課程入学
2004年9月 同課程修了（博士・工学）

2. 職歴・研究歴

【常勤】

- 2004年10月-2007年3月 東京工業大学大学院社会理工学研究科 助手
2007年4月-2008年3月 東京工業大学大学院社会理工学研究科 助教
2008年4月-2011年3月 一橋大学大学院社会学研究科 専任講師
2011年4月-2017年3月 一橋大学大学院社会学研究科 准教授
2017年4月-現在 一橋大学大学院社会学研究科 教授（現職）

【在外研究員】

- 2012年10月-2013年3月 The London School of Economics and Political Science 客員研究員
2013年4月-2013年9月 The University of Glasgow 客員研究員

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

不動産の社会科学（三井不動産寄付講義）、都市地域政策総論、都市地域施策特論

（b）大学院

地域政策Ⅱ、都市地域政策特論

（B）ゼミナール

3年ゼミナール、4年ゼミナール、大学院ゼミナール

4. 主な研究テーマ

都市政策、地域政策、コミュニティ政策、公民連携、公共施設計画

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書・編著

- ・梶秀樹・和泉潤・山本佳世子編『自然災害～減災・防災と復旧・復興への提言～』（共著）、技報堂出版株式会社

- 社,2017.9.15,350 頁 (分担部分:第16章 コミュニティの継承と復興事業—被災者における交流の継続と自治組織の機能強化—,281-298 頁)
- ・日本数理社会学会監修『社会をくモデル>でみる——数理社会学への招待』(共著),勁草書房,2008.2.25,240 頁 (分担部分:27章,128-131 頁)

(b) 論文

- ・堂免隆浩「コミュニティの継承も人命も尊重する復興事業の可能性」『計画行政』 通巻149号,19-24 頁,日本計画行政学会,2021.11
- ・堂免隆浩「なぜ他人の迷惑になるため公園で禁止されてきたボール遊びが認められるようになったか?—千葉県船橋市における公園でのボール遊び事業を事例として—」『一橋社会科学』 通巻13号,47-74 頁,一橋大学大学院社会学研究科,2021.5
- ・堂免隆浩・朴堯星「行政と地域おこし協力隊とのパートナーシップによる公共サービスの供給—尾鷲市の定住移住事業を事例として—」(共著)『計画行政』 第42巻第4号,47-54 頁,日本計画行政学会,2018.11.(査読あり)
- ・堂免隆浩「住民による都市公園の管理運営はスポーツ利用の拡大をもたらすか?:練馬区みんなの広場公園でサッカーゴールの設置が認められるに至った条件」『一橋大学スポーツ研究』 通巻36号,29-49 頁,一橋大学スポーツ科学研究室,2017
- ・堂免隆浩「市民による管理運営を前提とした遊休公共用地の活用:持続的な多目的広場を実現させる市民グループの特性および条件」『一橋社会科学』 通巻9号,1-23 頁,一橋大学大学院社会学研究科,2017.1
- ・堂免隆浩「練馬区立みんなの広場公園におけるサッカーゴール設置およびサッカー利用許可の成立条件:練馬区まちづくり条例における施設管理型まちづくり計画に基づく住民による公園管理」『都市計画論文集』 第50巻第2号,202-209 頁,2015.10(査読有り)
- ・堂免隆浩「震災復興計画におけるコミュニティ政策—自治的コミュニティとガバナンスの可能性—」『計画行政』 通巻120号,59-62 頁,2014.8
- ・堂免隆浩「住環境保全を目的とした自主ルールの実効性を高める住民組織の取り組み—行政指導を変化させた町田市における建築協約を事例として—」『日本建築学会計画系論文集』 第75巻第658号,2907-2915 頁,2010.12(査読有り)
- ・堂免隆浩「住環境保全を目的とした住民自治組織による紛争予防の取り組み—玉川学園地域における近隣住民と建築主等を仲介する事例を対象として—」『一橋社会科学』 通巻2号,47-73 頁,2010.11
- ・白石慧一・坂野達郎・堂免隆浩「国立大学通り訴訟地裁判決・高裁判決における行為管理権認定を元にした自発的な景観維持の社会的正当性の要因に関する研究」『(社)日本都市計画学会都市計画論文集』 第41巻第2号,481-486 頁,2006(査読有り)
- ・堂免隆浩・坂野達郎・中野章洋「田園調布地区における街並み崩壊の社会的ジレンマ性と違反行為をコントロールする仕組みに関する研究」『(社)日本都市計画学会都市計画論文集』 第39巻第1号,41-49 頁,2004(査読有り)
- ・坂野達郎・堂免隆浩「セルフ・オーガナイズド・コレクティブ・チョイス理論から見たまちづくり協定の正当性及び実効性に関する研究」(共著)『(社)日本都市計画学会都市計画別冊都市計画論文集』 第37巻第号,331-336 頁,2002(査読有り)

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表

- ・ Takahiro Domen, 2021, “Why Do Municipal Governments Restrict Ball Games in the Park?”, IV ISA Forum of Sociology, 2021.2, Virtual (distributed paper・アブストラクト査読あり)
- ・ 堂免隆浩・大崎裕子, 2019, 「公園の維持管理が行政以外の団体に委託される要因—効率化、管理能力、支援、自治基本条例に着目して—」, 日本計画行政学会第42回全国大会, 2019.9, 徳島文理大学(口頭報告)
- ・ 堂免隆浩・大崎裕子, 2019, 「なぜ公園でボール遊びが禁止されるのか(2)—首長の否定的姿勢, および, トラブルの存在に着目して—」, 数理社会学会第68回全国大会, 2019.9, 熊本県立大学(口頭報告)
- ・ 上西里奈子・古賀大智・白石哲才・堂免隆浩, 2019, 「社会福祉を支える地域の条件: 世田谷区ぬくぬくハウスを事例とし」, 日本計画行政学会 第13回若手研究交流会, 2019.3, 東邦大学(ポスター報告).
- ・ 伊藤旬哉・梅澤美紀・毛塚泰樹・三好由夏・堂免隆浩, 2019, 「カフェ併設型公園の運営における協議会の役割: 事業者・地域住民・行政が参加する「南池袋公園をよくする会」を事例として」, 日本計画行政学会 第13回若手研究交流会, 2019.3, 東邦大学(ポスター報告).
- ・ 芦澤樹奈・浦川那由他・松下俊・堂免隆浩, 2019, 「地域における観光と生活の調和: 観光客の無制限な増加に対する是非」, 日本計画行政学会 第13回若手研究交流会, 2019.3, 東邦大学(ポスター報告)
- ・ 堂免隆浩・大崎裕子, 2018, 「なぜ公園でボール遊びが禁止されるのか—ボール使用者のマナー遵守と行政の運営管理に着目して—」, 数理社会学会第67回大会, 2019.3, 立命館大学(口頭報告).
- ・ Takahiro Domen, 2018, “Why Grassroots Groups Result in Different Consequences of Contribution to Local Public Goods?: A Case Study of Maintenance of Public Squares in Japan”, XIX ISA World Congress of Sociology, 2018.7, Metro Toronto Convention Centre (口頭報告・アブストラクト査読あり)
- ・ 蔣文博・堂免隆浩, 2017, 「多様な利用を受け入れる秩序とルールの自発的形成—ボール遊びを許可しているくすのき第1児童遊園を事例として—」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第12回若手研究交流会, 2018.3, 東京工業大学(口頭報告)
- ・ 平田知子・平野航生・逢坂仁葵・堂免隆浩, 2017, 「生活防災を実施する地域組織の継続要因: 加古川グリーンシティ防災会を事例として」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第12回若手研究交流会, 2018.3, 東京工業大学(ポスター報告).
- ・ 飯塚雄介・笠原知倫・日下部恵・堂免隆浩, 2017, 「地方への移住者における移住決定要因—石川県を事例として」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第12回若手研究交流会, 2018.3, 東京工業大学(ポスター報告)
- ・ 伊東美帆・戸川奈美・前田悠登・渡會悠乃・堂免隆浩, 2017, 「ファミリーサポートセンターの提供会員による活動の開始と継続の要因: 八王子市を事例として」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第12回若手研究交流会, 2018.3, 東京工業大学(ポスター報告)
- ・ 長永大史・堂免隆浩, 2017, 「県費負担教職員制度の改革」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第12回若手研究交流会, 2018.3, 東京工業大学(ポスター報告)
- ・ 堂免隆浩, 2017, 「公的集会施設の地域コミュニティへの移譲—宮城県登米市における一括移譲の条件—」, 日本計画行政学会第40回全国大会, 2017.9, 青山学院大学(口頭報告).
- ・ 牛丸維人・梶菜由・三崎真帆・堂免隆浩, 2016, 「空き家選別政策に基づく空き家利活用—長野県佐久市における空き家バンクを事例として—」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第11回若手研究交流会, 2017.3, 一橋大学(ポスター報告).
- ・ 大賀友果梨・小山七夏子・末元寛奈・三宅徹・堂免隆浩, 2016, 「スポーツ大会がもたらす社会的包摂とダイバーシティ—2015・2016年開催ダイバーシティカップを事例として—」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第11回若手研究交流会, 2017, 一橋大学(ポスター報告)
- ・ 小俣彩夏・小久保彩子・田島麻衣・堂免隆浩, 2016, 「住民運営型コミュニティサロンの内外で創出されるつながりと高齢者の生活充実—ほっとサロン・ラベンダーを事例として—」, 日本計画行政学会・社会情報学

会共催第 11 回若手研究交流会, 2017, 一橋大学 (ポスター報告)

- ・堂免隆浩, 2016, 「未利用公共用地を活用した多目的広場における管理運営の持続可能性」, 日本計画行政学会第 39 回全国大会, 2016, 関西学院大学 (口頭報告)
- ・堂免隆浩, 2016, 「火山防災計画と広域連携」, 第 1 回防災推進国民大会, 2016. 8, 東京大学 (招待講演).
- ・Takahiro Domen, 2016, “Who Should Maintain Unused Public Lands? : To Foster Citizens' Behaviours Based on Private and Local Needs in Order to Overcome Public Issues on the Japanese Context”, Third ISA Forum of Sociology, 2016.7, The University of Vienna (口頭発表・アブストラクト査読あり).
- ・伊藤有亮・岡部一生・田中真由奈・松島直・堂免隆浩, 2015, 「地域問題における街づくり協議会の調整機能—世田谷区太子堂 2・3 丁目地区を事例として—」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第 10 回若手研究交流会, 2016. 3, 青山学院大学 (ポスター報告).
- ・天海達詠・有海美穂・岡部光・神村啓思郎・堂免隆浩, 2015, 「コミュニティシネマが果たす地域貢献—川崎市アートセンターと深谷シネマの事例から—」, 日本計画行政学会・社会情報学会共催第 10 回若手研究交流会, 2016. 3, 青山学院大学 (ポスター報告).
- ・堂免隆浩, 2015, 「市民による未利用公共用地の管理運営」, 日本計画行政学会第 38 回全国大会, 2015. 9, 名古屋工業大学 (口頭報告).
- ・木下七海・根本和汰・中谷恭平・堂免隆浩, 2014, 「保護すべき自生種の有無がもたらす公園管理形態の違い」, 日本計画行政学会第 9 回若手研究交流会, 2015. 3, 東京工業大学 (ポスター報告).
- ・上松遼・廣川怜那・山下暁人・堂免隆浩, 2014, 「市民によるコミュニティガーデンの運営と行政の姿勢—川崎市内の事例—」, 日本計画行政学会第 9 回若手研究交流会, 2015. 3, 東京工業大学 (ポスター報告).
- ・絹川千晴・沼尻和樹・吉澤克哉・堂免隆浩, 2014, 「スポーツもできる多目的広場における管理の多様性—西文ひろばと徳力みんなの広場の比較研究—」, 日本計画行政学会第 9 回若手研究交流会, 2015. 3, 東京工業大学 (ポスター報告).
- ・堂免隆浩, 2014, 「施設管理型地区まちづくり計画に基づく練馬区立みんなの広場公園でのサッカー利用の許可条件」, 日本計画行政学会第 37 回全国大会, 2014. 9, 一橋大学 (口頭報告).
- ・Takahiro Domen, 2014, “Associations as Quasi-Public Bodies in Japan: Cases of Maintenance and Management of Public Lands”, the XVIII ISA World Congress of Sociology, 2014.7, パシフィコ横浜 (口頭報告・アブストラクト査読あり).
- ・進戸淳史・堂免隆浩, 2013, 「商店街と NPO 法人に協働による社会貢献活動に関する研究」, 日本計画行政学会関東支部第 8 回若手研究交流会, 2014. 3, 学習院大学 (口頭報告).
- ・Takahiro Domen, 2013, “Community Engagement on Public Lands in Edinburgh and the Nerima Ward of Tokyo”, Urban Studies Workshop Series, 2013.9, University of Glasgow (口頭報告).
- ・Takahiro Domen, 2012, “Resident-Driven Activities for Supporting Community Agreements to Protect Residential Living Environments: Cases in Machida City, Japan”, The Research Seminar in Cities, Space & Development, 2013.3, LSE (口頭報告).
- ・堂免隆浩, 2011 「住環境保全を目的とした自主ルールおよび条例に基づく事前協議の比較」, 日本計画行政学会全国大会, 2011. 9, 中央大学 (口頭報告).
- ・加藤遼平, 2011, 「住民の自由な公園管理に対する行政の許容に関する研究—くさっぱら公園を事例として—」, 日本計画行政学会関東支部第 5 回若手研究交流会, 2011. 3, 電気通信大学 (口頭報告).
- ・酢谷泰大・堂免隆浩, 2010, 「日暮里織維街における地域活性化戦略についての考察」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2010. 3, 一橋大学 (共同発表者:) (口頭報告)
- ・戸田佐恵・堂免隆浩, 2010, 「都市空間における位置選択: 相対的パーソナルスペースに着目した待ち合わせ行動」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2010. 3, 一橋大学 (口頭報告).

- ・角田佑介・堂免隆浩, 2010, 「犯罪抑止のための青色防犯灯の効果に関する研究」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2010. 3, 一橋大学 (口頭報告).
- ・Takahiro Domen, 2008, “Efficiency of community governance to maintain local public goods: Japanese cases in urban society sophisticated by administrative systems”, ISA-RC21, 2008.12, International House of Japan (口頭報告・アブストラクト査読あり).
- ・堂免隆浩, 2008, まちづくりと自己組織的コレクティブ・チョイス」, 日本公共政策学会東日本支部研究会, 2008. 4, 青山オーバルビルセミナーホール(招待講演) .
- ・Takahiro Domen, 2008, “Japanese cases of community governance to protect local residential environment”, Joint Program of Tsinghua University and Tokyo Institute of Technology, 2008.3, Tsinghua University (口頭報告) .
- ・渡辺厚・坂野達郎・堂免隆浩, 2008, 「公共工事入札における落札率に影響を与える要因に関する研究—制度変更前後のデータ比較による」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2008. 3, 法政大学 (口頭報告) .
- ・徐欣・坂野達郎・堂免隆浩, 2008, 「中国瀋陽市における社会移動とパーソナルネットワークに関する研究」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2008. 3, 法政大学 (口頭報告) .
- ・堂免隆浩・坂野達郎, 2007, 「住環境保全を目的としたまちづくり協定制定および改定の成立条件に関する研究—東京都大田区(社) 田園調布会を事例として」, 日本計画行政学会全国大会, 2007. 9, 九州産業大学 (口頭報告) .
- ・浪瀬正興・坂野達郎・堂免隆浩, 2007, 「里山保全のための『地権者＝ボランティア団体仲介制度』の有効性と可能性——神奈川県秦野市として」, 日本計画行政学会全国大会, 2007. 7, 九州産業大学 (口頭報告) .
- ・堂免隆浩・坂野達郎, 2007, 「自己組織的コントロールによる社会的ジレンマ克服と多人数ゲーム」, 日本計画行政学会関東支部若手研究交流会, 2007. 3, 東京大学 (口頭報告) .
- ・渡辺厚・坂野達郎・堂免隆浩, 2006 「公共工事入札における落札率に影響を与える要因に関する研究—入札方式効果、匿名性効果、サイズ効果—」, 日本計画行政学会全国大会, 2006. 9, 大阪大学 (口頭報告) .
- ・大網恵一・坂野達郎・堂免隆浩, 2006, 「IT 調達における低価格入札の発生要因に関する研究」, 日本計画行政学会全国大会, 2006. 9, 大阪大学 (口頭報告) .
- ・中原香織・坂野達郎・堂免隆浩, 2006, 「都道府県の財政規律に対する姿勢が市町村の介護保険給付額に与える影響」, 日本計画行政学会全国大会, 2006. 9, 大阪大学 (口頭報告) .
- ・白川慧一・坂野達郎・堂免隆浩, 2005, 「マンション建設をめぐる景観紛争に関する判決文の比較と行為管理権に対する 市民の認識に関する研究——国立大学通り訴訟を事例として」, 日本計画行政学会全国大会, 2005. 9, 名古屋産業大学 (口頭報告) .
- ・堀井謙一・坂野達郎・堂免隆浩, 2005, 「住民投票条例提案の動機に関する研究——弱者のプロテストの背景にあるもの」, 日本計画行政学会全国大会, 2005. 9, 名古屋産業大学 (口頭報告) .
- ・堂免隆浩・坂野達郎, 2005, 「自己組織的コレクティブ・チョイス理論と まちづくり協定による街並みの保全」, 数理社会学会全国大会, 2005. 9, 同志社大学 (口頭報告) .
- ・堂免隆浩・坂野達郎, 2001, 「Self-Organized Collective Choice 理論に基づく地域公共主体の再検討」, 日本計画行政学会全国大会, 2001. 9, 北九州大学 (共同発表者: 坂野達郎) (口頭報告) .
- ・堂免隆浩, 2000, 「TMO のマネジメント機能に関する研究 —組織類型と収益・リスク指向性に着目して」, 日本建築学会全国大会, 2000. 9, 日本大学 (口頭報告) .
- ・堂免隆浩・坂野達郎, 2000, 「住民主体のまちづくりにおける地域的公共性に関する研究」, 日本計画行政学会全国大会, 2000. 9, 広島大学 (口頭報告) ,
- ・堂免隆浩・森保洋之, 1997, 「公営住宅の再生に関する基礎的研究」, 日本建築学会全国大会, 1997. 9, 日本

大学（口頭報告）。

C. 受賞

学位賞（博士論文に対して），日本環境共生学会, 2005.10

6. 学内行政

(B) 学内委員会

- ・入試管理委員（2008-2009）
- ・学士課程教育専門委員（2014-2015）
- ・オープンキャンパス実施専門委員（2014）

(C) 課外活動顧問

- ・Pro-K（2020年-現在）
 - ・少林寺拳法部（2021-現在）
-

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師等

2002-2005 年度 明海大学不動産学部

2004-2008 年度 日本社会事業大学社会福祉学部

(b) 所属学会および学術活動

- ・日本計画行政学会（総務担当理事（2017-現在））
 - ・日本都市計画学会
 - ・日本建築学会
 - ・数理社会学会
 - ・こども環境学会
-

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

- ・墨田区わがまちコーディネーター創出支援モデル事業企画運営委員（2008-2010）
- ・青梅市住宅マスタープラン策定懇談会委員（2009-2010）
- ・国立市駅周辺まちづくり会議まち育て検討部会委員（2011-2014）
- ・公益信託世田谷まちづくりファンド（キラ星応援コミュニティ部門）メンター（2018-2019）
- ・国立市企業誘致審査委員会委員（2018-現在）
- ・青梅市住宅マスタープラン策定懇談会委員長（2018-2019）